

平成 28 年度「国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座—国際子ども図書館所蔵資料を使って」開催要項

全国の各種図書館等で児童サービスに従事する図書館職員等の幅広い知識のかん養に資することを目的として、国際子ども図書館が広く収集してきた内外の児童書及び関連書を活用した児童文学連続講座を開催します。

1. 主 催：国立国会図書館国際子ども図書館
2. テーマ：「子どもに本を手渡すために—児童文学基礎講座」
3. 開催日：平成 28 年 11 月 7 日（月）及び 8 日（火）
4. 会 場：国立国会図書館国際子ども図書館アーチ棟研修室 1（1 階）
5. 対 象：児童サービス担当図書館職員、児童書研究者（学生含む。）、児童書出版関係者等。定員 60 名
 ※ 応募多数の場合は図書館職員を優先します。
 ※ 2 日間連続して参加できる方を優先します。
 ※ 原則として同一市区町村内からの応募は 1 名とします。
6. 受講費：無料
7. 内容及び講師：別紙のとおり。
 ※ 講座内容、時間割は、都合により変更になることがあります。御了承ください。
8. 申込方法：電子メール、ファクシミリ、郵送のいずれかによりお申し込みください。宛先等詳細は、下記のとおりです。
 ※ ファクシミリ又は郵送での申込みを希望し、かつ申込書を印刷できない場合は、国際子ども図書館企画協力課協力係まで御連絡ください。

電子メール	国際子ども図書館ホームページから申込書のファイルをダウンロードし、必要事項を記入の上、下記アドレスへ御送信ください。 kenshu★kodomo.go.jp（★を@（半角）にしてください。） 申込締切：平成 28 年 8 月 24 日（水）17:00
FAX	国際子ども図書館ホームページから申込書を印刷し、必要事項を記入の上、下記の番号へ御送付ください。 03-3827-2043 申込締切：平成 28 年 8 月 24 日（水）17:00
郵送	国際子ども図書館ホームページから申込書を印刷し、必要事項を記入の上、下記の住所へ御送付ください。封書の表書に「連続講座申込書在中」と明記してください。 〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49 国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課協力係 申込締切：平成 28 年 8 月 24 日（水）必着

9. 受講通知：9月下旬に本人又は各機関取りまとめ担当者へ受講の可否を通知します。
10. 修了証書：連続講座の全課程を修了した方に対し、国際子ども図書館長名の修了証書を授与します。

問合せ先：国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課協力係

TEL：03-3827-2053（開館日の9:30から17:00まで）

FAX：03-3827-2043

電子メール：kenshu★kodomogo.jp（★を@（半角）にしてください。）

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

(別紙)

テーマ 「子どもに本を手渡すために—児童文学基礎講座」

子どもに本を手渡すためには、「子どもの本」とは何かを理解することが必要です。なぜ、どのように、どのような本を子どもに手渡すべきか？——子どもの本に関わる多様な現場では、これらの根本的な問いかけが常になされ、多くの関係者が答えを模索し続けています。

平成 28 年度の本講座は、児童文学概論、日本児童文学概論、外国児童文学概論、絵本概論の 4 つの視座から子どもの本に関する基礎的な知識を総合的に学び、その後の継続的な学びの契機とすることを目的として、主に子どもの本の現場における初任者を対象として開講します。

また、子どもの本に関わる日々の業務・調査研究に役立てていただくため、国立の児童書専門図書館である国際子ども図書館の利用法を御紹介します。

○1 日目 11 月 7 日 (月)

時間	内容	講師
9:30	受付開始	
10:00-10:15	開講挨拶・諸注意・講師紹介	国際子ども図書館職員
10:20-12:00	児童文学とは何かというとても難しい問題	川端 有子 (日本女子大学教授) 子どもが読む本のことを児童文学という、そういえば簡単ですが、実はこの言葉がよびおこすイメージは、ひとによって様々で、しかもずいぶん曖昧です。そもそも、子どもが読む本でありつつ、書くのも売り買いするのも評価するのもおとなである、という児童文学の特殊性と、その定義の難しさについて考えてみたいと思います。
12:00-13:00	休憩	
13:00-14:40	日本の児童文学—「声」の時代、「声」のわかれ	宮川 健郎 (武蔵野大学教授) 児童文学とそれを子どもに読んであげる「声」のかかわりを軸に、日本児童文学の歴史をふりかえり、現在の問題を考えます。 巖谷小波、新美南吉、石井桃子、佐藤さとるらの作家たちが、私のお話の主な登場人物です。
14:40-14:50	休憩	
14:50-15:10	国際子ども図書館の紹介	国際子ども図書館職員
15:10-16:00	国際子ども図書館見学	国際子ども図書館職員

○2日目 11月8日(火)

時間	内容	講師
9:30	受付開始	
10:00-11:40	英米を中心とした外国の児童文学—その歴史と概要	川端 有子 日本では翻訳をとおして読まれてきた外国の児童文学の歴史と、ファンタジーやリアリズム、冒険小説などのジャンルの発展について概観し、地域による特色や、時代・文化による変遷の歴史、日本での受容などについて、著名な作品を取り上げつつ、論じていきます。
11:40-13:00	休憩	
13:00-14:40	絵本を学ぶ、その序章から— 絵本とは何か	石井 光恵 (日本女子大学教授) 「絵本とは何か」というずいぶん難解で本質的な問いから学び始めます。しかし、「絵本とは何か」のその答えは、連続講座で学ばれた一人一人が、最終的にご自身で獲得していくものと考えています。今回の概論としての講座では、近年絵本がどのような認識で捉えられるようになって来ているか、について解説します。
14:40-14:50	休憩	
14:50-15:30	国立国会図書館が提供するデータベース紹介—子どもの本を探すには	国際子ども図書館職員
15:30-15:35	休憩	
15:35-15:55	受講者交流及び質疑応答	石井光恵、国際子ども図書館職員
15:55-16:00	閉講挨拶・修了証書授与	

講師略歴（五十音順）

石井 光恵（いしい みつえ）

日本女子大学大学院家政学研究科修士課程修了、現在は日本女子大学家政学部児童学科教授。日本保育学会、日本児童文学学会、絵本学会等所属。

著書 『保育で大活躍! 絵本から広がるあそび大集合』（共著）、『幼児が夢中になって聞く! 絵本の読み聞かせと活用アイデア 68—季節・行事編—』（共著）

編著書 『絵本学講座 2 絵本の受容』、『ベーシック絵本入門』（共編著）、『絵本の事典』（共編著）

川端 有子（かわばた ありこ）

関西学院大学大学院博士課程満期退学、英国ローハンプトン大学にて PhD（児童文学）を取得。愛知県立大学外国語学部を経て、現在は日本女子大学家政学部児童学科教授。日本イギリス児童文学学会常任理事、日本児童文学学会理事、日本ヴィクトリア朝文化研究学会理事。

著書 『少女小説から世界が見える：ペリーヌはなぜ英語が話せたか』、『児童文学の教科書』

編著書 『本を読む少女たち：ジョー、アン、メアリーの世界』、『「もの」から読み解く世界児童文学事典』（共編著）等

訳書 『絵本の絵を読む』（共訳）、『赤毛のアン スクラップブック』（編著・訳）

宮川 健郎（みやかわ たけお）

立教大学大学院文学研究科博士課程前期課程修了。宮城教育大学助教授等を経て、現在は武蔵野大学文学部日本文学文化学科教授。一般財団法人大阪国際児童文学振興財団理事長。一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)副会長。

著書 『物語もっと深読み教室』、『みんなに知らせる』（小学生のための文章レッスン）、『子どもの本のはるなつあきふゆ』、『現代児童文学の語るもの』等

編著書 『はじめてよむ日本の名作絵どうわ』全 6 冊、『近代童話作家資料選集』全 7 巻、『「場所」から読み解く世界児童文学事典』（共編著）、『1 年生からよめる日本の名作絵どうわ』全 5 冊、『名作童話を読む 未明・賢治・南吉』等